

第202号

# 連携室だより



公益財団法人  
北海道医療団

## 帯広第一病院

### 帯広第一病院理念・基本方針

#### 【理念】

地域に信頼される病院を目指し、質の高い、思いやりのある医療サービスを提供する。

#### 【基本方針】

- 1 患者の皆様の安全と権利を守ります。
- 2 地域医療機関との連携を推進します。
- 3 救急医療の充実に努めます。
- 4 研修や教育を積極的に行います。
- 5 働きがいのある職場を作ります。



令和4年11月10日 足寄本別出張症例検討会の様子



## 今号の内容

### ・非常勤医師紹介

足寄消防署で開催された症例検討会に参加しました 救急副センター長 / 総合診療科副部長 奥田 拓史 … (2)

### ・音更町地域包括支援センターほほえみのご紹介 音更町地域包括支援センター長 橋本 崇

ヘルパーステーションほほえみ ケアマネジメントほほえみ のご紹介

ヘルパーステーションほほえみ所長 野原 照子 ケアマネジメントほほえみ所長 船田 知美 … (3)

### ・帯広西病院のご紹介 帯広西病院 事務長 菊池 和浩

防災訓練について 総務課長補佐 丹野 敦 … (4)

## 非常勤医師紹介

### ～小川先生へインタビューをしました～



#### 麻酔科

専門分野：麻酔科

おがわ あきこ

小川 彰子

平成12年3月 国立浜松医科大学医学部医学科 卒業  
令和4年7月 帯広第一病院 非常勤医 着任

#### 1 麻酔科を選んだ理由

手術が好きだったが、どの外科系にするか決められず、全身管理を行う麻酔科に興味を持ったからです。20年以上やっているがこの選択で良かったと思っています。

#### 2 当院の印象

働いている方々みなさんの雰囲気がいいと思います。

#### 3 当院でやりたいことは？

常勤のお二人の先生方を微力ながらお助けできればと思っています。

#### 4 これからの抱負

区域麻酔を活用して、術後の患者さんの痛みを軽減していきたいです。

#### 5 地域の先生方へ一言

どうぞよろしくお願いいたします。

## 足寄消防署で開催された症例検討会に参加しました

### 救急副センター長 / 総合診療科副部長 奥田 拓史



令和4年11月10日に足寄消防総合庁舎で開催された症例検討会に、当院より、菊地大介救急センター長、奥田拓史同副センター長、發地翔太研修医、三塚裕斗研修医が指導医として出向しました。

担癌患者の救急搬送、交通外傷の救急搬送に関して救急隊より症例提示があり、それぞれに対し当院での経過、救急隊からの質問への回答、考察を発表し、活発な質疑応答がありました。最後に2症例全体を通じての総括的なレクチャーを行い、各指導医からのコメントで会を締めました。

今回出向した北十勝地域は、当院への搬送症例はそう多くないものの、搬送に時間を要する案件が多く、搬送途中に状態が変化することもあり得るため、救急隊と受入医療機関との連携が、より重要となります。救急隊もチーム医療の一員として、ともに搬送患者の治療にあたっているという認識を共有し、協力体制を改めて確認できました。

今後も、当院では、救急隊再教育実習、症例検討会などを通じて、救急隊との連携強化のみならず、十勝地方全体の救急体制充実に貢献したいと考えております。



## 音更町地域包括支援センターほほえみのご紹介

### 音更町地域包括支援センター長 橋本 崇

#### 地域包括支援センターは何をしてくれるの？

～高齢者のための総合相談窓口～

地域包括支援センターは、その地域に住む高齢者やその家族などが、高齢者の生活にかかわることを広く相談できる「窓口」です。「住まい」や「介護」「医療」「予防」「生活支援」など、多岐にわたる分野のサービスの情報を包括して提供しています。高齢者が介護を必要とするようになって、慣れ親しんだ地域で暮らせることが目的です。

地域包括支援センターでは、保健師や看護師、社会福祉士、主任ケアマネジャー（主任介護支援専門員）など、医療・保健・福祉・介護の各分野の専門家がチームになって対応してくれます。地域包括支援センターは、高齢者やその家族からの相談に無料で応えてくれます。



音更町地域包括支援センターほほえみの担当圏域は、音更町の共栄中学校区・下音更中学校区となります。

## ヘルプーステーションほほえみ ケアマネジメントセンターほほえみ のご紹介

### ヘルプーステーションほほえみ所長 野原 照子 ケアマネジメントセンターほほえみ所長 船田 知美

ヘルプーステーションほほえみは、老健とかちに隣接して事務所があり、音更地区を主に訪問介護をさせていただいています。

同法人のケアマネジメントセンターほほえみ、訪問看護ステーションたなごころ、地域包括支援センターほほえみと連携しながら、在宅での療養生活が安心して継続できるように12名のスタッフで援助を行っています。また、介護保険外となるプライベートサービスにて通院の付き添いなども行っており、特に低所得者の方の利用料を通常の30%減額する優遇措置も行っています。

音更町より介護予防事業「あすなろクラブ」の委託を受け、リハビリテーション科より助言を頂きながら運動機能訓練を実施し、地域に根ざした事業所でありたいと日々知識・技術の向上に励んでおります。

ケアマネジメントセンターほほえみでは、現在、ケアマネジャーは主任介護支援専門員2名を含む5名体制となっており、主に音更町や帯広市の要介護者を担当させていただいています。

地域の皆様が住み慣れた我が家でいつまでも安心して暮らせるように、ご本人様、ご家族様に寄り添い、取り組むことを心掛けています。

皆様が出来る限り自立した生活が送ることが出来るように、職員一同努めてまいりますので、今後共どうぞ宜しくお願い致します。





## 帯広西病院のご紹介

### 帯広西病院 事務長 菊池 和浩

帯広西病院ではこれまで、回復期病棟43床及び療養病棟92床、計135床の病院として運営してまいりましたが、国の施策による療養病床見直しや、近年の地域高齢化に伴う慢性期医療・介護サービス提供の変容等により、新たなサービス提供体制への再編が必要と考え、令和3年11月より4階療養病棟46床を十勝で初となる「介護医療院」へと転換し、医療89床、介護46床の併設機関として運営するよう致しました。

介護医療院とは、「医療の必要な要介護者の長期療養・生活施設」として、平成30年4月より創設された介護保険施設となりますが、これまでの病院と同じく、継続的に医療・リハビリの提供を行いつつ、生活の場として医療と介護の両面で支えることができる施設となります。

こうして当院では回復期医療、慢性期長期療養、介護保険施設、そして一般外来診療、健診事業と、みなさまのニーズに合わせた各種医療介護系サービスを整えることができたと考えており、在宅復帰および在宅療養支援を中心に地域のニーズにきめ細かく応えるべく努力して参ります。



## 防災訓練について

### 総務課長補佐 丹野 敦

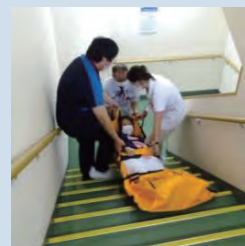
令和4年11月9日、帯広第一病院の防災訓練を実施しました。

今回コロナ渦における訓練として、規模を縮小して感染対策を遵守した上で4月に入職した新入職員を中心に医療専門職員、事務職員、委託業者職員など約30名が参加しました。

火災発生に伴い、逃げ遅れて病棟や病室に取り残された場合を想定したバルコニーから院外への避難器具の設置場所の確認、避難器具の取扱いの訓練を実施。

加えて、火災の基礎知識の講習、消火器や消火栓を使用した初期行動訓練など初歩的な行動の確認を行いました。

今回の訓練で明らかになった課題を改善するとともに、今までのように集合した訓練が実施できないコロナ渦の状況を踏まえ、工夫した防災訓練を行うことで火災発生時の体制強化に努め利用者の安心安全を提供したいと思います。



**発行** 公益財団法人北海道医療団 帯広第一病院 地域医療連携室  
 〒080-0014 帯広市西4条南15丁目17番地3  
 TEL 0155-25-3121 (病院代表) / 0120-558-091 (連携室直通)  
 FAX 0155-27-0248 (連携室専用) e-mail renkei@zhi.or.jp

